

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	百貨店（担当者）	販売量の動き	・食料品や家庭用品の一部など、堅調に推移している商品群もあるものの、衣料品や宝飾品などは春以降継続的に苦戦しており、物価高が消費マインドに与える影響が感じられる。3か月前と比較すると、極端な悪化こそしていないものの、改善もみられない。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・お中元は、低価格の商品が早めに売れる。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・来客数や客単価は前年よりやや上昇傾向にあり、一部商品の値上げもあり売上には寄与している。買い控えも落ち着き、今のトレンドがしばらく続く。
		その他専門店【楽器】（経営者）	販売量の動き	・前年に対して売上の減少が続いている。6月中旬以降はボーナス時期と重なり多少は回復感があつたが、前年割れは今後も継続する。
	やや悪く なっている	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・諸商品の値上げにより買い控えは進んでいる。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・ガソリンを始め、様々な価格高騰で消費活動が停滞気味の感がある。特に携帯電話やフィットネス商品などに顕著に傾向が出ている。また全体的に低価格商品のニーズが高い。
		観光型ホテル（商品企画担当）	来客数の動き	・4月から6月の累計の稼働率では、前年より約2%ほど下回る状況となっている。
		観光型ホテル（営業担当）	単価の動き	・客室単価の減少により、全体的な売上金額が減少している。
通信会社（店長）		販売量の動き	・電話機自体が飽和状態にある。3～4月は入学シーズンでもあり需要があつたが、それ以降は新規の客が減り販売量が確実に落ちている。	
通信会社（サービス担当）		お客様の様子	・ガソリン値上げ、他商品値上げ等で客の財布のひもが固くなり良くなる材料が見つからない。	
観光名所（職員）		来客数の動き	・当施設の利用者数は、3か月前の3月は前年同月比で110.1%であつた。今月は6月25日現在で106.1%と前年同月比でやや低い伸びとなっている。この伸びからすると6月の沖縄への入域観光客数は、前年同月程度と推測される。来園者は、一般団体、修学旅行、家族連れ等が中心である。	
ゴルフ場（経営者）		単価の動き	・安い単価で、利用者人数を増やす傾向がかなり強い。県内全域にそういうゴルフ場がある。安くするため、キャディ料金をカットし、キャディを付けない。キャディの生活が危ぶまれるという状況がそろそろ出てきている。	
その他のサービス【レンタカー】（営業担当）		単価の動き	・5月からのガソリンの値上げにより、低燃費車の軽自動車等の利用が増え全体的に稼働単価が下がっている。	
悪く なっている	衣料専門店（経営者）	来客数の動き	・単純に「通り」というより「街」の人通りが少なくなっている。当店のある商店街も同様である。	
	その他専門店【書籍】（店長）	単価の動き	・現状では単価の維持が出来ないようで、各出版社の商品の値上げが始まっている。子供向けのコミックですら値上げ等がみられる。活字離れに拍車をかける。	
	その他飲食【居酒屋】（経営者）	競争相手の様子	・今月に入って、地域の居酒屋の倒産が相次いでいる。観光客は結構歩いているが、平日地元客の来客数が激減しているのが響いている。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	食料品生産業（管理部門）	それ以外	・原料肉類、副資材類、光熱費、燃料費は継続して高騰し経営を圧迫しているが、それ以上に円高効果と輸入商品の売上が貢献している。

		輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・改正建築基準法の影響で、民間工事は依然低迷しているが、一部の地区を中心に公共工事の土木関連が堅調で、生コンやアスファルト用砂及び砕石の受注がある。
	変わらない	通信業（営業担当）	取引先の様子	・前月と同じく、受注案件の話はあるが受注に至らない。
	やや悪くなっている	輸送業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・燃料費高騰、各種原料価格上昇により物流費圧縮の動きが各取引先で活発になっている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣依頼数はそれほど落ち込むことは無く、さほど変化は無いが、時間単価や他の条件面が厳しくなっている。企業が引き締めに入っている印象を受ける。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・県内外の求人数は前年同期と比較して、業界により多少の増減はあるものの安定して推移している。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・平成20年5月の新規求人数が2,582人で3か月前に比べ19.2%、前年同月比では10.9%減少している。常用求人数は2,201人で3か月前に比べ0.2%、前年同月比では9.4%減少している。
	悪くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・原油高等の影響により業績が悪化し、見通しが立たない状況から求人数が減っている。